今日も訪問に行く～稲穂～

８月のとある日。

連日報道される猛暑や、お米や野菜などの価格高騰にうんざりする気持ちを振り払うように、病院近くに広がる水田を眺めました。
青々とした水田に近づくと、稲穂が顔を出し、小さな花が咲いていました。

こんなに暑いのに、季節は確かに秋へと移ろっているのだと、
少し驚きました。

訪問看護ステーション野の花がある済生会奈良病院の周辺では、かつて田んぼが広がっていました。
しかし近年は、JR の高架工事や京奈和道の整備などにより、水田の姿が少しずつ減ってきています。

生産者の高齢化や気候変動による育成の難しさなど、
農業を取り巻く課題は多くあります。

日本の食文化の要ともいえるお米の価格が、
一日でも早く落ち着くことを願うばかりです。

当院付近の水田風景

訪問に使う自動車も、連日の猛暑でまるで蒸し風呂のよう。

体力的にも厳しい日々ですが、利用者さんの笑顔に励まされ、私たちも元気をいただいています。
暑さはまだしばらく続きそうですが、今日も私たちは元気に出発します。

野の花看護ステーション　看護師